

農作業特報

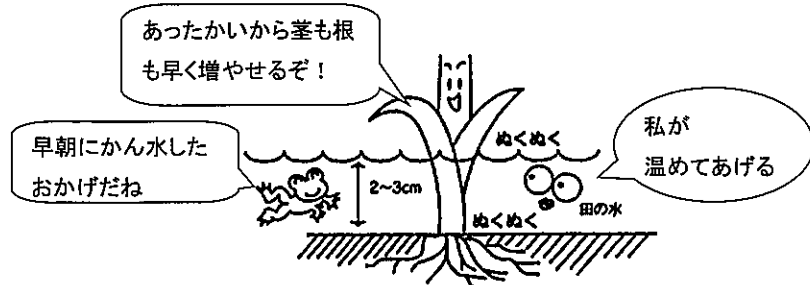
黒 部 市
黒 部 市 農 業 技 術 会 議

早期の分げつ確保は、品質の良い米作りにつながります。活着後は浅水管理によって田水温を高め、分げつ（新しい茎）の発生を促しましょう。昼夜の水温較差が大きいと、分げつの発生が促進されます。

また、田植後4週間までに中干しを行うため、田植時期の早いほ場から溝掘りを始めましょう。

1. 水管理

- 活着後は、浅水管理（水深3cm程度）を徹底しましょう。
- 入水は朝・夕に行い、日中は止め水で水温を高め、分げつ（新しい茎）の発生を促し、太い茎を確保しましょう。
- 田がわいたり、藻が発生した場合は、水の入替えや軽い田干しを行い、根に酸素を与えましょう。
- 軽い田干しを行う場合は、風の穏やかな温かい日に実施しましょう。
〔
・ 一発除草剤を散布済みの場合 → 軽い田干しは散布後7日以降に
・ 中期除草剤を散布予定の場合 → 軽い田干しは散布前に
〕
- × チラ干しは、苗が傷んだり、雑草が発生しやすくなるため、厳禁です。
- × 深水管理は、水温が上がらず、苗が伸び過ぎて軟弱になってしまいます。



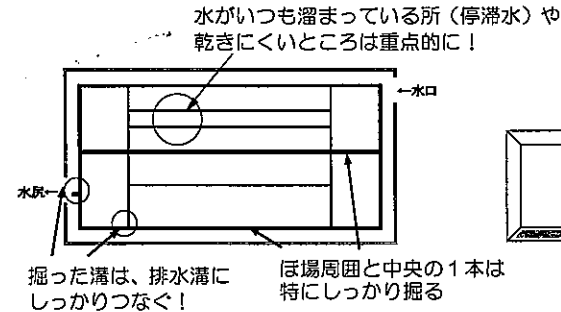
<初期生育の良い稲くん>

間さし苗は、いもち病発生のもと！すぐに処分しましょう!!

春の農作業安全運動展開中！ 4月1日～5月31日

2. 溝掘り

- 中干しの効果を高めるため、6月上旬までに溝掘りを実施しましょう。
- 溝掘り前に軽い田干しを行い、土を落ち着かせた後に設置しましょう。
〔 設置の目安は『額縁』+『5m程度の間隔に1本』。 “水の溜まっているところ”や“乾きにくいところ”を重点的に。 〕
- 掘った溝は、確実に水尻（排水口）と連結しましょう。



ほ場全体の排水を図り、
中干しの効果を高めよう!!

3. 中期除草剤の使用のポイント

剤型	剤名	処理時期	使用量	使用上の注意点
粒剤	※サンパンチ 1キロ粒剤	田植後 15～30日 (ノビエ 3.5 葉期まで) 収穫 60 日前まで	1kg/10a	・イネ4葉期以前に使用しない。
	マメットSM 1キロ粒剤	田植後 15～30日 (ノビエ 3.5 葉期まで) 収穫 60 日前まで	1kg/10a	・イネ5葉期以前に使用しない。 ・15℃以下の低温または30℃以上の高温が予想される場合は使用しない。
	※アクシズMX 1キロ粒剤	田植後 20日～ (ノビエ 4.0 葉期まで) 収穫 45 日前まで	1kg/10a	・葉害回避のため、田植後20日以降に散布する。
	※レプラス 1キロ粒剤	田植後 14～30日 (ノビエ 4.0 葉期まで) 収穫 60 日前まで	1kg/10a	・葉害回避のため、砂質土壌及び減水深2cm/日以上の水田、極端な浅植えの水田での使用は避ける。
投込み	※テッケン ジャンボ	田植後 15～35日 (ノビエ 4.0 葉期まで) 収穫 60 日前まで	500g/10a (10 パック/10a)	・水深6cm以上の深水状態で水田に均等に投げ入れる。 ・薬が多発しているほ場では使用しない。

- ※印は「やまだわら」には使用しない。
- 散布前に、軽い田干しや水の入替えを行いましょ。
- 散布後に大雨が予想される場合は使用を避ける。
- 散布時は田面が見えない程度の深水とし、散布後7日間は「止め水」を保ち、落水やかかけ流しはやめましょ。